

九州経済産業局と、パブリック・ディベート実行委員会（実行委員長：池田賢治福岡工業大学教授）は、幅広い層、特に若年層に対して省エネルギーの更なる普及啓発及び情報提供を行うため、省エネをテーマに中学生・高校生を対象とした「政策提案型パブリック・ディベートコンテスト」を開催しました。当日は、中学校3チーム、高校6チームが参加しそれぞれ「ユニーク」かつ「斬新なアイデア」の省エネ政策提案をもとに論戦を繰り広げました。今年度は、中学・高校ともにすべての試合をYouTubeライブ配信（配信希望者限定）を行いました。九州経済産業局は、今後とも若年層も含めた省エネ・エネルギー環境広報に積極的に取り組んで参ります

開催日時：令和5年（2023年）1月8日（日）

開催方法：オンライン

テーマ：2050年カーボンニュートラルの実現を目指し
～「じぶんごと」として捉える施策とは～

試合結果：中学の部 1位 宮崎西高等学校附属中学校（宮崎県）
2位 尚綱(しょうけい)中学校（熊本県）
3位 東明館中学校（佐賀県）
高校の部 優勝 宮崎西高等学校（宮崎県）
準優勝 慶進高等学校（山口県）



☆表彰式☆



九州経済産業局 電源開発調整官 野尻
パブリック・ディベートコンテスト 実行委員会委員長 池田賢治教授

☆主催者挨拶☆



☆ 試合の様様（中学） ☆

省エネ政策提案概要	
《中学》 質問者	新たな発電方法 床発電と潮力発電
《中学》 答	「食の裏側の見える化」で日本全体が協力するムード作り
《中学》 質問者側の中	消費電力可視化アプリとセンサーライト設置支援で、無駄をなくした豊かな社会
《高校》 質問者	日々の身近なエコ活動にポイントをつけ、カルポアプリで見える化
《高校》 質問者側	ガソリン車で二酸化炭素排出量の通知を行う
《高校》 質問者側	楽しみながら電気使用率を下げるエコポイントアプリ
《高校》 答	一人一人が「一つまみの努力」を積み重ねて大きな成果をうみだす
《高校》 質問者	新たな手段を取り入れたゼロエネルギーハウスの建設と節電・エネルギー自給へのポイント付与
《高校》 答	家族の絆を深める 一億総団らん計画

☆省エネトークセッション☆

参加校の省エネ政策提案をベースに、2人の講師から参加校への提言に関する問いかけなどで、理解を深めました。

参加チームの省エネ政策提案概要

《中学》 東明館中学校	新たな発電方法 床発電と潮力発電
《中学》 尚綱中学校	「食の裏側の見える化」で日本全体が協力するムード作り
《中学》 宮崎西高等学校附属中学校	消費電力可視化アプリとセンサーライト設置支援で、無駄をなくした豊かな社会
《高校》 東福岡高等学校	日々の身近なエコ活動にポイントを付与、カルポアプリで見える化
《高校》 東明館高等学校A	ガソリン車で二酸化炭素排出量の通知を行う
《高校》 東明館高等学校B	楽しく家庭の電気使用率を下げるエコポイントアプリ
《高校》 尚綱高等学校	一人一人が「一つまみの努力」を積み重ねて大きな成果をうみだす
《高校》 宮崎西高等学校	新たな手段を取り入れたゼロエネルギーハウスの建設と節電・エネルギー自給へのポイント付与
《高校》 慶進高等学校	家族の絆を深める 一億総団らん計画